



## 《将来に向けた取組方針》

「探索精神と多様な技術の融合で、地球を笑顔にする」これが私たち三井金属グループのパーパスです。「人類への貢献」と「地球環境への貢献」を両立することが私たちの存在意義であるとの認識のもと、ものづくりメーカーとしての強みを発揮し、変化する世の中にとどのように貢献できるか、今まさにその真価が問われています。生物多様性保全是、鉱山・金属事業を持つ当社が取り組むべき重要な課題です。「環境基本方針」に従い、生物多様性への影響を最小限に抑えるよう、環境負荷の低減に努めています。また、拠点所在地域の状況に応じてステークホルダーとの連携も進めています。2030年ネイチャーポジティブ達成に向け、今後も取組みをさらに充実させて参ります。

## 《活動状況》

### ワンサラ鉱山・パルカ鉱山での取組み

両鉱山の周辺地域には、標高3,000m超に生息する高地特有の動植物群が存在しています。開発・操業に伴う影響を最小化するため、酸性水の適切な処理、環境ベースライン調査、生物生息調査を行っています。また、2019年より集積場の拡張工事に伴う湿地植物群の移植を、専門家や関係省庁と連携して実施しました。



植物の移植作業が完了（ワンサラ鉱山）



敷地内で植樹（Gecom）

### Gecom（米国）での取組み

ISO4001 認証取得以降、地域の生物多様性保全活動に積極的に参加しています。敷地内には多くの生物が生息しているため、それらの生物と環境保護の目的で、2021年世界アースデイを皮切りに、敷地内にGecom Forestを設置、以降178本の植樹を行っています。

### 水資源の保全

当社グループの製造過程において、水は必要不可欠です。当社の「環境行動計画」では、各拠点における取水量や排水量、およびその水質の適切な管理を定めています。また、水利用量、排水量、リユース・リサイクル量をモニタリングし、効率的な水利用に努めています。



排水や雨水の貯水用ポンドを活用した再利用（福岡県三池地区）

## 《今後の課題》

TNFDに準拠した情報開示に向けて、LEAPアプローチによるサプライチェーン全体を対象にした体系的な依存・影響・リスク・機会の調査を遂行します。